

令和5年度 棚田地域等保全対策事業 人材育成検討会

春日集落における 農地保全の取組みについて



令和6年3月5日（火）
鹿児島県農政部農村振興課
むらづくり推進係
上拂 京平

平戸市の概要

- ▶ 人口 28,537人 13,678世帯
- ▶ 面積 235.09km²
- ▶ 農産物 水稲、繁殖牛、アスパラガス、イチゴ など



平戸市の農業に関する現状①

① 農業者の減少 ○農業就業構造（農林業センサス参考：5年毎）

単位：戸、人

	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
販売農家	2,103	1,874	1,597	1,311
自給的農家	920	938	823	768
合計（戸）	3,023	2,812	2,420	2,079

② 農地の減少

○耕地面積の推移（農林水産省作物統計調査参考）

単位：ha

区分	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
田	2,110	2,070	2,050	2,040	2,030	2,030
畑	1,050	1,020	996	991	979	977
合計	3,160	3,080	3,040	3,030	3,010	3,007

平戸市の農業に関する現状②

③ 農業販売額の減少

○農業販売額の状況資料（市独自の販売額調査）

単位：100万円

年次	米	いも類	野菜	畜産	菌床しいたけ	葉たばこ	その他	計
2012年度 (H24)	1,578	199	633	1,829	667	139	18	5,063
2013年度 (H25)	1,424	189	672	2,157	721	126	19	5,308
2014年度 (H26)	1,145	200	668	2,095	886	143	24	5,161
2015年度 (H27)	1,172	231	646	2,422	1,029	122	21	5,643
2016年度 (H28)	1,294	218	569	2,506	1,085	113	18	5,803
2017年度 (H29)	1,298	183	584	2,389	950	143	19	5,566
2018年度 (H30)	1,287	142	616	2,240	960	113	15	5,373
2019年度 (R1)	1,090	130	640	2,239	936	122	21	5,178
2020年度 (R2)	961	155	554	2,009	993	98	15	4,785
2021年度 (R3)	969	148	502	2,453	969	116	25	5,182
2022年度 (R4)	796	107	526	2,241	988	77	21	4,756

※その他・・・花き及び果樹

平戸市の課題

1. 農業生産構造に関する課題
 - 農業就業人口の減少
 - 農業従事者の高齢化
 - 鳥獣被害の発生
2. 生産性、収益性に関する課題
 - 労力不足
 - 生産コストの増加
3. 販売流通体制に関する課題
4. 農業と地域活性化に関する課題
 - 農業農村の持つ多面的な機能を活用した農村地域の活性化



春日の棚田振興協議会設立

・貴重な国民的財産である棚田を保全し、棚田地域の有する多面にわたる機能の維持増進を図り、棚田地域の振興を図ることを目的とする。

【春日の棚田振興協議会 規約 目的より】

■ 平戸市農業振興計画における取組内容

第4節 農業環境の保全

2. 日本型直接支払制度等の活用

中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度を活用し、地域共同で行う多面的機能を支える活動や地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る集落活動や中山間地域の農地保全活動について支援します。

また、棚田地域振興法に基づき、地域の自主的な取組みによる棚田等の保全や棚田を核とした棚田地域の振興を支援します。

春日の棚田振興協議会の概略

(1) 設立 令和2年6月25日

(2) 経緯

棚田地域振興法（令和元年8月成立）に基づき、国から指定棚田地域の指定を受け、春日の棚田振興協議会を設立。

→中山間地域等直接支払交付金の棚田地域振興活動加算に取り組む

(3) 会員（地域住民8名、平戸市4名）

- ・春日町地域住民
 - ・ 中山間春日小春日集落協定
 - ・ 春日町まちづくり協議会安満の里春日講
 - ・ 平戸市→総会時、ボランティアに協力

(4) 保全を図る棚田等の範囲

- ・面積 116,178㎡（143筆）

指定棚田地域振興活動計画に基づき、活動を行う！

春日の棚田振興協議会の活動目標

目標設定（指定棚田地域振興活動計画）

①耕作放棄地を発生させず現状を維持する。

丸尾山の展望スポット等の草刈り

②棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

棚田米や棚田米を原料とした加工品（かんころもち、日本酒）の販売

③棚田を核とした棚田地域の振興

春日集落案内所「かたりな」を拠点にSNS等を活用した情報発信を通じ、年間来訪者数を増加させる。

= 中山間地域等直接支払交付金の棚田加算の取組内容

目標の達成状況

①耕作放棄地を発生させず現状を維持する。

目標

来訪者が訪れる棚田展望スポット及び農道の草刈り作業を地域住民やボランティア等と協力して年2回実施する。

状況

令和4年度については、令和4年12月4日（土）及び令和5年2月5日（日）の2日間ボランティア等と協力して、棚田展望スポット及び農道の草刈り作業を実施した。



目標の達成状況

②棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

目標

春日案内所などで、春日の棚田米や棚田米を原料とした加工品を販売し、令和6年度までに延べ売上高1,000千円（年間200千円目標）を達成する。

状況

令和4年度 916,470円

《内訳》

棚田米 304,000円

平戸春日米のかんころ餅 511,160円

フィランド（酒） 101,310円

目標の達成状況

③棚田を核とした棚田地域の振興

目標

春日の棚田の良さを広く知ってもらうため、春日集落案内所を拠点にマスメディアやSNSなどを活用した情報発信を通して、都市住民と地域住民のとの語らいを中心とした交流を推進し、平成29年度に年間1,568人だった来訪者を令和6年度までに延べ25,000人（年間5,000人目標）を確保する。

状況

令和4年度 16,218人

米製品販売売上高

米製品売上額(円)	R2年度	R3年度	R4年度	現計
棚田米	363,600	410,800	304,000	1,078,400
春日米のかんころもち	479,622	442,640	511,160	1,433,422
フィランド（日本酒）	191,854	221,996	101,310	515,160

5年間延べ		
現計	目標	達成率(%)
3,026,982	1,000,000	303%

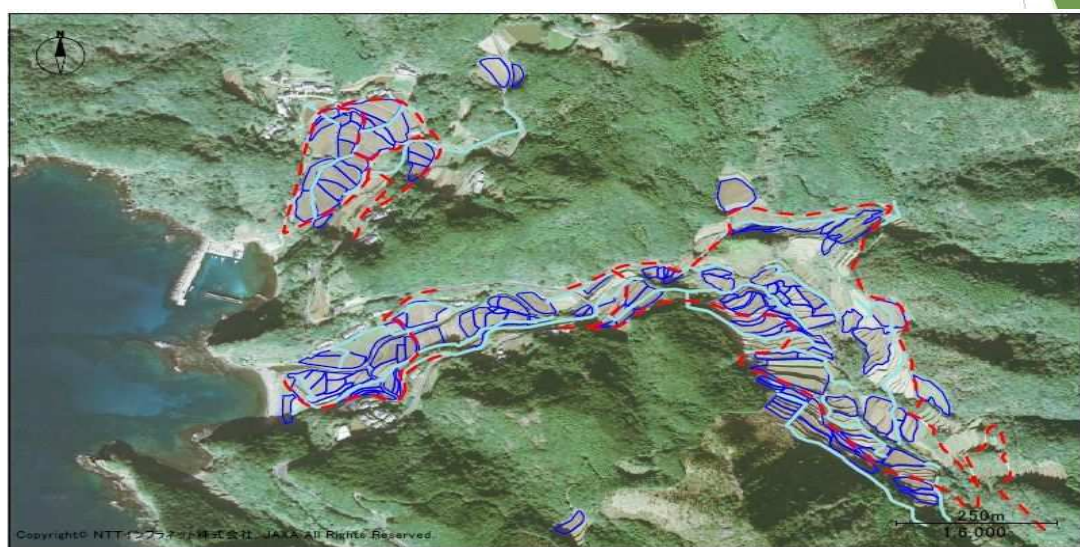
春日の棚田来訪者数

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	現計
来訪者数 (人)	1,568	20,185	19,924	15,517	13,955	16,218	87,367

5年間延べ		
現計	目標	達成率(%)
87,367	25,000	349%



中山間地域等直接支払交付金 対象農地



春日小春日集落協定の活動内容

令和4年度 実績報告より

- ・多面的機能推進活動
コスモス種まき 1回
- ・農道・水路等の清掃 6回
- ・役員会、総会 3回



春日小春日における 中山間地域等直接支払交付金の推移

区 分		R02	R03	R04	R05見込
基本分	面積(m ²)	103,078	110,618	116,178	116,178
	交付金	2,164,638	2,322,978	2,439,738	2,439,738
加算分	面積(m ²)	103,078	110,618	116,178	116,178
	交付金	1,030,780	1,106,180	1,465,356	1,465,356
合計(交付金)		3,195,418	3,429,158	3,905,094	3,905,094

成果と今後の課題

成果

- ・ 集落で協力して農地および周辺環境の保全活動ができる。
- ・ 活動に必要な資金、人間的な結束ができる。
- ・ 棚田を生かし、集落の維持、活性化を図れる。→加算目標の早期達成

課題

- ・ 協定を維持するための、庶務や手続きを行う後継者が確保できるか。
- ・ 農業を行う住民の高齢化や担い手不足

以上、ご清聴ありがとうございました。